

目標達成計画

作成日: 2020年 2月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	訓練後の総評を次の訓練で定着させるため、夜勤職員が参加する訓練の回数増に期待したい。また、近年の自然災害多発を踏まえ、対応策と連絡網の検証が望まれる。	夜勤職員が参加する防火訓練を、年3回実施することができる。	3月:消防署、消防団の立ち会いで夜間を想定した防火避難訓練の実施 9月・12月:消防設備会社立会いで夜間を想定した防火避難訓練の実施。 その他:社内研修による防火教育(年1回) ・防災備品の周知、防災ビデオ鑑賞 ・防火避難訓練(初期消火、応援要請、避難誘導等)について、グループワーク ・これまでの訓練の振り返り	12ヶ月
			職員緊急時電話連絡網の検証をすることができる	3月・6月・9月・12月に職員緊急時連絡網を回し、正しく機能しているかどうかの検証を行う。 不備や問題があれば、事業所内で協議の上、改善や整備を行う。	12ヶ月
			年1回、防災避難訓練を実施することができる	6月:地震を想定した、防災避難訓練の実施。 防災マニュアルの見直し その他:社内研修による防災教育(年1回) ・防災備品の周知、防災ビデオ鑑賞 ・防災避難訓練についてのグループワーク	12ヶ月